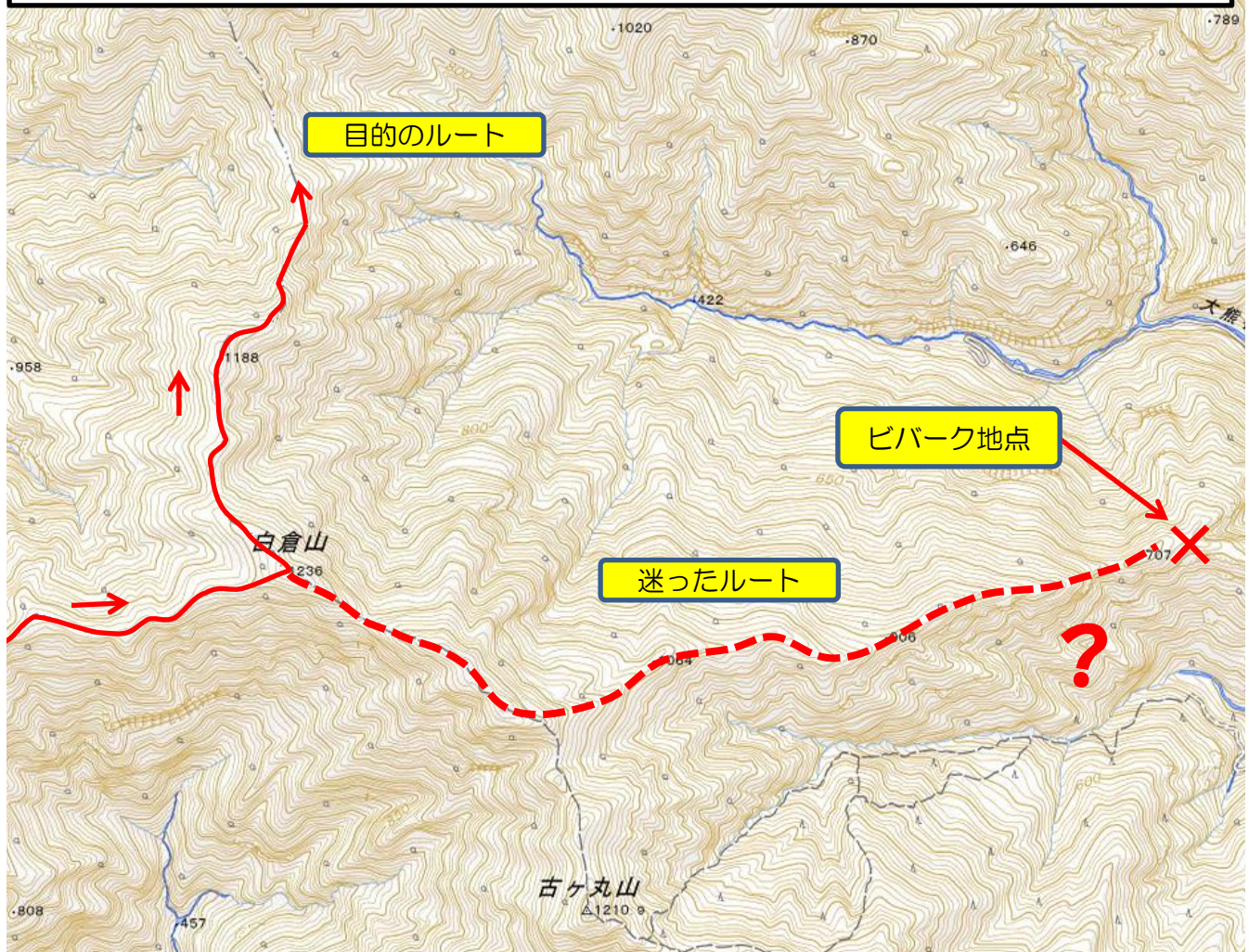


白倉山道迷い(2012年4月)

日帰り登山で上級者向けルートを取ったため、最初の登りで時間がかかり焦る。白倉山を北上できず通過し違う道を進む。日暮れとなり計画外のビバーク。翌日、来た道に戻って目的の登山ルートを下山した。



解説

登山計画も曖昧で、当日、上級者向けルートを選んで登山開始。思った以上に時間がかかり焦る。

地図の先読みでは、「白倉山(1236m)辺りが今日唯一の注意箇所。ピークに立ち左へUターンするように登山道が続いている。」と正しく予測するも、白倉山にあっさり着いたため、「北側に道は無い。ああここでなんというミス。ここは白倉山ではないぞ、ときどきあるんだこういうデタラメ山名板が。さあ急がないと・・・」次の小ピークにうっすらと「八景山(?)」の山名板があり、「ああやっと白倉山だ、早く左に曲がる道を探さないと・・・」と本人談。

道迷いの不思議・・・①現地の看板もデタラメと言い、信じない。

下り続け、太陽が沈みかける。先が分からなくてイライラし、靴紐を枯れ木に引っ掛け、つんのめる。クソッと無理やり取ろうとしたら、木が左足ふくらはぎに突き刺さる。

道迷いのあるある・・・②冷静さを失い怪我をする。

ビバーク装備は持っていないが、幸い雨も降らず一晩を過ごす。翌日、来た道に戻り、正しいルートは無事下山した。